

青少年赤十字



SHIMANE

第 110 号 令和 2 年 3 月 31 日

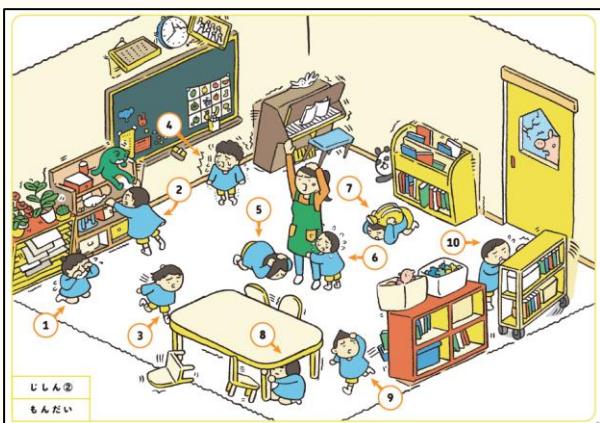
島根県青少年赤十字指導者協議会

日本赤十字社島根県支部

幼稚園・保育所向けの防災教育をはじめました！

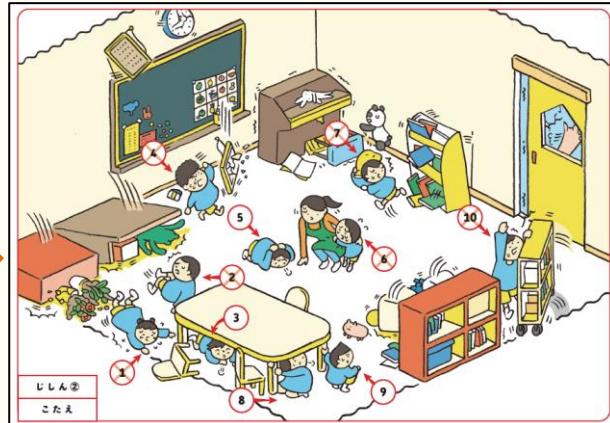
今年度は、県内 12 の加盟園に日本赤十字社が開発をした幼稚園・保育所向け防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を配布しました。この教材はイラストを見ながら楽しく学べるようになっています。また、高校 JRC 部のみなさんも本教材を使って園児に防災教育を実施しています。

《じしん編》 もんだい



「このイラストの中で、危ない動きをしているのはどの子かな？」まずは問題を見て考えます。

《じしん編》 こたえ



問題と答えを照らし合わせながら、地震から命を守るために大切なことを学びます。



古志原幼稚園で実施した様子。「この本が落ちてくるよ！」
「ここにいたら危ないよ！」たくさん気づきの声がありました。



平田高校 JRC 部員による防災学習。幼稚園の子どもたちも、おねえさんと一緒に楽しく防災の勉強ができる嬉しそうです。

＼幼稚園教諭の声／



この教材は、年齢に合わせた内容で分かりやすかったです。イラストを見ながら子どもに問い合わせながら、子どもと一緒に考えながらの流れでよかったです。

＼JRC 部生徒の声／



教材をみた私たちがまず、あっ！そうちか！これもか！と『気づき』、いざ当日は園児たちが『気づき』、誰もが刺激を受けました！今度は実際の教室や屋外でやってみます。

令和元年度青少年赤十字研究推進校 出雲市立河南中学校

出雲市立河南中学校は、2011年3月11日東日本大震災が発生してから、被災地である岩手県宮古市にある同名の中学校（宮古市立河南中学校）との交流・支援活動を続けています。今年度は青少年赤十字研究推進校の活動として、代表生徒と当時の生徒会長と職員が宮古市を訪れて、交流を行いました。

震災後に、全校生徒から集めたことばをつなぎ合わせた歌詞に曲を付けて完成した「ともだちのうた」。今回の訪問活動の「報告会」を行うことで、全校生徒は改めてこの歌ができる経緯や想いを再確認する機会となり、多くの生徒から「これからも大切に歌い続けていきたい」との感想がありました。



「ともだちのうた」のモザイクアート

【生徒の感想（抜粋）】

- これからも交流が続くといいなと思ったし、今1年生の僕たちが卒業しても、次の世代の人に歌い継いでほしいと切に思いました。
- 私は「ともだちのうた」の歌詞が好きです。「遠く離れていてもみんなつながっている」というのは本当にその通りだと思います。みんな繋がっているのだから、みんなで支え合っていかないといけないと思いました。

私はこの伝統を受け継いでいきたいと思います。

Pick up!

奥出雲町立高尾小学校 「平成30年7月豪雨災害」被災地へ

日本赤十字社広島県支部において、奥出雲町立高尾小学校児童による落語鑑賞会が行われました。高尾小学校では、災害で被災された方々に笑顔を届けることを目的のひとつに、青少年赤十字活動として「チャリティ一寄席」に取り組んでおり、様々な地域で公演をされています。今回は、これまで集まった義援金を、直接被災県に届けるため、『平成30年7月豪雨災害』の被災地である広島県にて実施しました。



広島県支部事務局長に義援金を手渡すことができました。県外講演に少し緊張している様子でしたが、広島ならではのネタを盛り込んで、笑いを誘いました！



会場に集まった広島県の奉仕団の方々は子どもたちの寄席を聞いて大笑い！みんなで被災地に笑顔を届けることができました。

加盟校の活動状況



加盟登録式（安来市立第三中学校）



義援金募金活動・贈呈（大東高校）



高齢者施設訪問（出雲市立東小学校）



防災スクール（ふろしきリュック）
(安来市立第三中学校)



防災スクール（非常食炊き出し）
(安来高校)



保育所訪問（益田市立吉田小学校）

Pick up!

島根県立松江南高等学校 「LOVELY KOSHIBARA PROJECT」

松江南高校JRC部の部員は3人。少人数ながらも、今年度は校区に当たる古志原地区を対象に、独居老人375人に絵葉書を贈る活動、幼児への防災教育、防災マップづくりを実施しました。特に防災マップづくりでは、街歩きや電話調査をし、井戸やAEDがどこにあるのか自分たちで調べながら、探究的な活動をされました。

そして、この取り組みが評価され、「MY PROJECT AWARD 2019」の島根県代表として、全国サミットに出場しました。



＼JRC 部顧問の声／



絵葉書を贈ることで少人数では不可能なことも協働で実現できることを知り、活動で得た情報から防災マップを作るまでに至りました。探究を支えたのは、座学では得られない地域の方々の温かさです。また、探究の根底にあるのは興味関心であり、それがなければ、防災の脆弱性に気づくこともありませんでした。指導者として、この探究の種を大切にしたいと思います。

第10回赤十字救急法競技大会にJRCメンバーが参加しました

9月29日（日）に開催した救急法競技大会に、選手として松江南高校、益田翔陽高校が参加され、優秀な成績をおさめられました。また、ボランティアとして松徳学院高校、松江工業高校のみなさんが協力して下さいました。



選手宣誓（益田翔陽高校）



心肺蘇生法の部（松江南高校）



三角巾包帯法の部（益田翔陽高校）

島根県青少年赤十字指導者講習会を開催しました

「青少年赤十字指導者講習会」は、学校の先生方に、学校現場において青少年赤十字をどのように活用するのかを知っていただくことを目的に実施しています。今年度は2月13日（木）に開催し、下記のプログラムを実施しました。



- 特別講演：「いじめや不登校問題について青少年赤十字ができること」
群馬県高崎市教育委員会 教育長 飯野 真幸
- 報告：「青少年赤十字指導者研究会」
出雲教育事務所 指導主事 小林 剛
- 研究発表：「学校教育活動全体で取り組む『命の大切さ』を育む生徒の育成」
出雲市立河南中学校 校長 大國 哲也
- 事例発表：「松江南高校JRC部の活動」
島根県立松江南高等学校 教諭 花岡 和彦
- 事例発表：「社会の一員として自分たちにできること考えてみよう
～ボランティア宅本便の取り組み～」
島根県立清心養護学校 教諭 玉木 実希子

令和元年度 青少年赤十字加盟校

幼稚園・保育園	13園
小学校	88校
中学校	52校
高校	39校
特別支援学校	6校
合 計	198校
(新規加盟校)	10校

令和2年度の主な行事

- 6月12日(金)：JRC指導者協議会総会〔サンラポーむらくも(松江市)〕
- 8月5日(水)～7日(金)：県トレセン〔サンレイク(出雲市)〕
- 12月5日(土)：隠岐トレセン〔隠岐の島町立西郷中学校〕
- 12月13日(日)：赤十字救急法競技大会〔県立武道館(松江市)〕
- 2月6日(土)：益田トレセン〔益田市内〕
- 2月18日(木)：JRC指導者講習会〔サンラポーむらくも(松江市)〕



日本赤十字社 島根県支部 青少年赤十字事務局

〒690-0873 松江市内中原町40

TEL:0852-21-4237 FAX:0852-31-2411